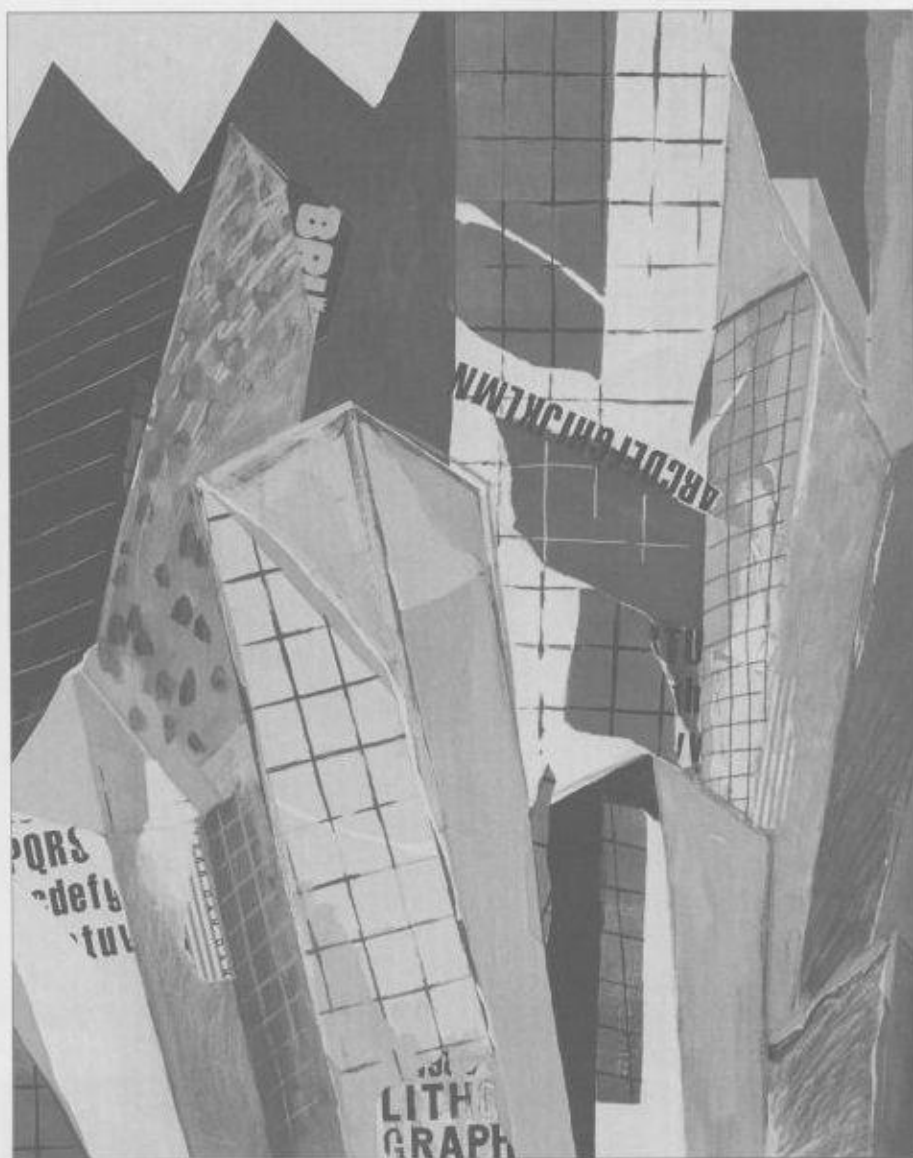


# IP NEWS

インテリアプランナーニュース

1992.9 VOL. 3



- 特別企画：シリーズ「北海道の地域に根づく工芸を訪ねて」-1
- 北海道IP協会総会報告
- 北海道IP協会会員紹介
- IP実施例  
北海道IP協会賛助会員紹介
- シンボルマーク決定  
見学会報告

水彩・コラージュ「CITY」 670×810

土門絵美 札幌教育大学特設美術科卒業

作品写真提供/オフィス メロウ（絵画・彫刻・工芸等）  
道内芸術家の作品の企画・販売/060 札幌市北区北7条西2  
丁目37山京ビル1007 TEL・FAX.011-756-2771

# ■特別企画——シリーズ「北海道の地域に根づく工芸を訪ねて」—1

スタジオ・グラスマン 松田博志さん 工房グラス・ニセコ 磯谷郡蘭越町日の出554-42 ☎0136-58-3263

北海道の雄大な自然に囲まれたニセコ日の出に窯を築き、独自の感性と作風で多くの美しいガラス器を創り続ける松田博志さんを初夏夕暮れの工房に訪ねた。

**中井** 本日はお忙しい所、誠に申し訳ありません。早速ですが、ニセコに工房を開いた理由と、ここに来る前の御活動についてお話を伺いたいのですが。

**松田** ニセコに来てから8年目になりますが、その前は札幌の豊平硝子工場と言う会社に10年程いました。街の民芸店で豊平硝子工場の美しい輪挿しを見まして、すぐにその工場を訪ね、柔らかいガラスが色々な形に変化していく事にとっても興味を覚え、そこの社長さんに頼んで働かせていただいたのが、この仕事をはじめのきっかけでした。何事も10年と言います。10年目が近づいた頃、そろそろ何処かに自分の窯を持ちたいと思いました。たまたまそんな時に、親が老後の別荘地にとここを購入しまして、来てみたところ自然が実に素晴らしく、すっかり気に入ってしまいました。こう言う自然環境の中で仕事が出来ればと、ここに移って来た訳です。

## ■工芸はフロンティア精神

**中井** 今回は「北海道の地域に根づく工芸」と言う企画なのですが、工芸と地域について何かお考えがあればお聞かせ下さい。

**松田** むずかしい質問ですね。ガラスに限らず、木工、焼物等もそうですが、北海道の工芸の歴史、伝統はアイヌの方々を除けば非常に浅いと思います。本州の方ですとそれこそ何百年もの伝統があります。そう言う意味で、地域に限らず北海道で工芸をやるには、フロンティア精神を持つしかないと考えています。地域とのつながりは、大変うすい所から始めて行く訳です。

うちの工房も例外ではなく、最初の頃は、何か変な事をやる人が来たと言うのが、地元の人たちの共通の認識でした。受入れる要素が少ない地域で工芸を始めるのは、かなり大変なのではと言う気がします。ですから、フロンティア精神の思いを強く持たされた分だけ仕事に意欲的にならざるを得なかったのかもしれませんが。

**中井** それは興味深いお話ですね。今、インテリアが注目されていますが、松田さん御自身がお創りになるガラス器とインテリアの関連については、どの様にお考えですか。

**松田** うちのものはテーブルウェアと呼ばれ、主に食卓で使われるガラス器が中心です。インテリアを最初にイメージして制作する訳ではありませんが、どんなインテリアにも生きるもの、自己主張を余りせず自然にインテリアになじむガラスをと思っています。そして使う人の気持ちで、好きな用途に使っていただきたいと考えています。自称「人畜無害のガラス器」と言う所でしょうか(笑)。

## ■シンプルで機能的なスタイル

**中井** 具体的に一つのガラスの形を決めるのにどの様なプロセスがあるのでしょうか。

**松田** 私の場合、特別なデザインプロセスはありません。シンプルで機能的なスタイルと言うのが基本にありまして、せいぜいアイディアスケッチ程度です。ドローイングは余り重要視せず、実際に試作を重ねて形を決めて行きます。むしろ制作に必要

な道具を作る事からはじめますね。かなりデリケートな仕事ですから、まず自分の手になじむ道具を色々工夫して作ります。

**中井** 「段取り八分」と言う事ですね。松田さんはガラスの無色透明感をとても大事になさっている様ですが、その辺のお話を伺いたいのですが。

**松田** ガラスの魅力については、人それぞれの意見があるのですが、私には無色透明がガラスの一番の美しさだと言う思いがあります。造るものがテーブルウェアなので尚更なのかもしれませんが。器に入れる飲み物、食べ物が生きるあり方で、無色透明にかなうものはないと思います。

**中井** 今後の作品、将来の夢について、よろしければお聞かせ下さい。

**松田** 同じものを造るので、今はなるべく大きさや形を揃え様としていますが、ゆくゆくは、ガラスと言う自由な素材で思いきり自由な形を造ってみたいと考えています。それをテーブルウェアの持つ「実際に使われる器」と言う制約の中でやりたいと思っています。とても小さな夢ですが、制作に追われず、ゆとりを持ってのんびりと仕事出来る様になれば、最高ですね。もともと、ここに移って来たのがのんびり仕事をしたと言う事でしたから。のんびりしているから制作に追われるのかもしれませんが(笑)。

**中井** 長い時間どうもありがとうございました。

(取材後感：工芸家はかくあるべきと言う何かをかいま見た気がする。今後の更なる御活躍を祈りつつ山を下りる。)



松田 博志

1950年釜石市生。  
1975年豊平硝子工場入社。  
1985年工房グラス・ニセコ設立。  
1987年より毎年道内ガラス作家と共に札幌市内デパートにてグループ展を開催。美しく可憐な作品多数。



作品



工房にて

聞き手：中井 伸二

- 北海道インテリアプランナー協会
- (株)ナックデザイン 代表取締役

## ■IP実施例

●インテリアオフィスブロック 石崎たづ子

■林邸

■釧路市桜ヶ岡6丁目6-7

釧路市内の太平洋を望む高台に建つ住宅である。ご夫婦と子供3人の5人家族が住む5LDKで延面積155㎡あまりの中に「ゆとりある空間作り」をコンセプトとして設計する。

- 家相が気になるために平面計画に無理が生じる事がないようにする。
  - 将来のライフスタイルの変化に対応できる。
  - 充実した収納スペースをとる。  
(小屋裏を利用できる空間作り)
  - LDKが独立性を持つ(オーディオルームになるため)。
  - ユーティリティ回りの使い勝手が良く洗濯物が干せる(春から夏に霧が多く、戸外に干せない日が多い)。
  - 全体のデザインがシンプルである。
- 以上の点にポイントを置いて設計している。

○玄関・ホール

収納を充実させ、玄関正面壁にコート入れを設けた。階段下の空間も利用し乱雑になりがちな玄関をすっきりさせている。照明ブラケットはオブジェの機能のあるものを採用している。

○LDK(写真)

28.5帖の広さと天井高2.6mを取ったため開放感あるLDKとなった。大小2つの正方形の組み合わせによる平面形は、家具レイアウトによりフレキシブルな空間となる。

キッチン子供達との触れ合いを大切にするため長さ360cmの大きなセットを入れ、ハロゲンクッキングヒーターを備えて200V時代に対応している。キッチン前の壁は310×200陶器タイルを使用、LDK全体はグレーを基調色としたモダン感覚でまとめている。

○和室(写真)

リビングに隣接させる和室という事で

現代風にアレンジした空間作りとしたが床の間・仏間は家相に考慮して作られている。天井はラミ天、壁は和紙貼り。

○WC

1,350×1,800mmの広さで人造大理石カウンター付手洗を採用。オフホワイトの陶器を使い清潔感を出す。

○脱衣室

洗濯室及びボイラー室を兼ねている。独立性を保ち他の室内に湿度を持った空気が流出しないように考慮している。

○子供室・寝室(写真)

プライベートルームは手持ちの置き家具が多いので、シンプルな空間作りとしカーテンで個性を出した。各室とも天井・壁はビニールクロス貼り。床はフローリング貼り。



LDK



和室



子供室

## ■賛助会員紹介

今号より全賛助会員を順次紹介いたします。

### 株式会社INAX札幌支店

支店長 藪井 節雄

担当者 岩橋 一成

内外装・床タイル

住宅設備機器

〒060 札幌市中央区南2条西2丁目18-1  
住友生命札幌南2条ビル

TEL.011-271-1701  
FAX.011-271-1722

### ウベハウス株式会社札幌支店

支店長 小池 誠治

担当者 渡部 弘幸

コンクリートプレファブ住宅

〒065 札幌市東区東苗穂1条1丁目2-44

TEL.011-784-1895  
FAX.011-784-2759

### 株式会社インテリアセンター札幌支店

支店長 小野 悟

担当者 藤田 哲也

家具製造販売

〒060 札幌市中央区北1条西3丁目  
MNビル

TEL.011-231-4445  
FAX.011-231-4775

### 株式会社エービーシー商会札幌営業所

所長 山田 安孝

担当者 辻 和典

内外装建築仕上材

〒060 札幌市中央区北2条西4丁目1  
北海道ビル

TEL.011-231-7904  
FAX.011-271-5840

### 株式会社インハウス札幌支店

支店長 大脇 一真

担当者 藤井 順弘

インテリアファブリックス

〒063 札幌市西区山の手1条12丁目4

TEL.011-631-6003  
FAX.011-642-3514

### クリナップ株式会社札幌支店

支店長 谷田 武

担当者 木皿 俊一

総合住宅設備機器

〒060 札幌市中央区北1条東1丁目2  
明治生命札幌ビル

TEL.011-222-1635  
FAX.011-222-1634

# シンボルマーク 決定

## 北海道インテリアプランナー協会 設立を記念して募集した、シンボル マークの審査結果を発表いたします。

### ■審査報告

道内各地から応募者23人、応募案55点の作品が集まりました。

ご多忙の中、熱心に応募いただき感謝いたします。

審査は、7月9、14日と2日に分けて行いました。初日は、案の傾向を確認し合い、次回、全作品をモノクロで縮小(約15mm)した案も作成して、改めて審査を行うことにしました。

2日目は、一覧表にした縮小作品を参考に、「縮小しても、拡大しても、明確な主張が感じられる作品」を対象に選定を行いました。

作品は、IPまたはHIPAの文字(大文字、小文字)を図案化したものが多く、ほかに、椅子やカーテンなどインテリアの構成要素をデザインし

たものや、北海道の地形をデザインしたものなどがありました。

清水尚君の最優秀作品は、ipを素材にしたマークです。選定にあたっては、印象強い力感がある、非対象の動きに個性がある、シンプルで清々しい、親しみやすく飽きにくいなどを高く評価して決定しました。

実用之際には、添え字や色彩などについて、北海道インテリアプランナー協会のロゴと調整する必要があります。

金山正志君、山本眞一郎君、渡辺治美君の佳作3点は、トータルなイメージ表現について、審査員の評価が分されました。

改めて参加者の熱意に感謝申し上げ、一層のご活躍を期待して、審査結果の発表報告といたします。

審査員一同(文責吉田)

### ■最優秀作品



北海道デザイナー  
専門学院  
清水 尚 君

空と太陽をイメージして「ip」をデザインしました。

### ■佳作3点



乃村工芸社  
金山 正志 君



山本建築設計事務所  
山本眞一郎 君



竹中工務店  
渡辺 治美 君

## ■かでの2・7見学会報告

広く道民が行う学習・研修・交流等の  
機会の充実をめざした道民活動センター  
ビル

今年2月18日、3回目の見学会としてかでの2・7が選ばれ、36名の参加者が職員の案内のもと1時間にわたり見学。ここは道民活動センタービルとして、広く全道の方々が利用できる公共施設として昨年11月14日オープン。地上10階、地下1階、延床面積20,554㎡、総工費およそ100億円。ビルの中は道民活動センター・社会福祉総合センター・札幌婦人就業援助センター・女性プラザ・ウタリ総合センター・社会教育総合センターと6つのセンターで構成。大小さまざまな会議室、研修室が低料金で一般に開放され、補聴装置付き車イス席を含め500余席、最新の音響、照明設備を備えたかでのホールも1日10万円前後で使用することができる。各センター共、最新の設備を整えたこのビルは、もう既にさまざまな催事に利用されているが、「札幌市民だけのセンタービル」にならないように、特に地方に住む方々を含めた、できるだけ多くの道民



ロビーの石のオブジェを見る

が利用でき、個々が積極的にかかわっていけるような、スムーズな運営の対応を望みたい。このビルで特に注目したいスペースは3階のノーマライゼーション関連施設(一部展示コーナーと介護実習室がある)。6階の女性プラザ(6階全部が女性の為に開放されている)。9階の文化交流室内の図書資料室(道内に1つしかないという蔵書がここにはある)。見学の後、30分のミーティングが予定を大巾にオーバーして行なわれ、特にロビーの内装(石造り)から受ける印象が冷たく閉鎖的であるとの批判が集中、ノーマライゼーションを唱えながら、ヒューマンスケールの必要性を訴えられる場面もあり、公共施設の難かしさを、それぞれに感じた見学会でもあった。

### ★トピックス

7月9・10日両日にわたりアルファリゾート・トマムにて、日本増改築産業協議会北海道支部主催による第1回全国住宅リフォームサミット在北海道が開催され、ミサワホーム社長・三澤千代治氏による特別記念講演が行なわれた。討論会では参加企業60社余り、80名をこえる参加者の活発な意見交換がなされ、熱気のうち、無事終了した。

### ◎編集後記

IPニュースも3回目の発行となり、少しでも皆様のお目にとまるような新鮮な内容をと一同頑張っております。プランナーの為の耳よりの情報をお待ちしています。

情報委員会 小野 悟 野村光雄  
湯上剛志 中井伸二 吉田 宏  
山田照子 吉本真知子

発行日 1992年9月  
発行者 北海道インテリアプランナー協会  
〒062 札幌市豊平区平岸6条10丁目1-58-414  
北国の住み・相談所内  
TEL(011)232-6761 FAX(011)232-6762  
編集 北海道インテリアプランナー協会  
情報委員会  
印刷 株式会社 須田製版

■総会報告

北海道インテリアプランナー協会が平成3年9月設立後、幹事会と各委員会により活動を続けてきたが、平成4年4月14日、ホテルKKRにて全道の会員が出席する中で、第一回総会が開催された。

会員102名中63名の出席（委任状55名）計118名により会議は成立し、杉山宗英氏を議長として議事は進行した。

1991年度事業報告・収支決算報告・監査報告が各委員会により行われた後、1992年度事業計画案・予算計画案等の議案が審議された。

各委員会の事業計画は下記のとおりとなり前年度の委員会構成を若干変更した中で全会員が委員会のどれかに所属し、活発な活動が期待される。

1. 事業委員会

会員及び広くインテリアプランナーの資質向上のための見学会、研究会、勉強会等の活動を行う。

- 1) 見学会の開催（年4回程度）
- 2) 設計製図研究会（インテリアプランナー資格取得）
- 3) その他事業に関する諸事項

2. 情報委員会

会の活動報告、会員相互の情報交換及び広く一般に認知と理解を求めるとの情報活動を行う。

- 1) 広報誌「IPニュース」の発行（年3回程度）
- 2) 会員活動の情報収集
- 3) その他情報に関する諸事項

3. 交流委員会

会員相互の交流をはかる一方、広く認知と理解を求めるとに他団体・組織との交流活動を行う。

- 1) 会員相互の交流・親睦
- 2) 他団体・組織との交流・親睦
- 3) その他交流に関する諸事項

4. 総務委員会

組織強化と組織運営の活性化、円滑化を進めるための活動を行う。

- 1) 会員の増強
- 2) 会の適性な運営方法の研究
- 3) 支部設置についての検討立案
- 4) その他組織に関する諸事項

5. 専門委員会及び部会

専門委員会は新しいテーマ・特別のテーマ解決のために、最も適する会員によってその都度構成し、テーマが完了すれば解散する。

部会は各委員会が必要に応じて設置し、円滑な委員会活動に役立てるものです。

役員選出は会長1名、副会長3名、幹事若干名、会計監査2名となり議長より当初2年間は現役員が執行する旨の説明があった。また本会に顧問として、清家清氏・西王天政信氏・景山功氏の三氏に依頼し、組織の確立を推進する。

報告・議案とも可決承認を受け、第一回総会を終了した。

役員名簿

役職名	氏名	所属委員会	役職名	氏名	所属委員会
会長	杉山 宗英		幹事	田嶋 英人	交流委員会
副会長	木澤 西	事業委員会	*	角田 清造	交流委員会
副会長	山本 信		*	子島 伸	事業委員会
副会長	古田 圭	情報委員会	*	中 恵子	交流委員会
幹事	小野 悠	情報委員会	*	中村 純一	交流委員会
*	小野 昌幸	事業委員会	*	野村 光雄	情報委員会
*	上山 啓己	交流委員会	*	三浦 啓	交流委員会
*	斎藤 健二	交流委員会	*	山田 新二	総務委員会
*	佐藤 克之	事業委員会	*	湯上 剛志	情報委員会
*	佐藤 亨	事業委員会	*	吉本眞知子	情報委員会
*	佐野 高光	事業委員会	監査	中井 伸二	情報委員会
*	式部 住和	交流委員会	監査	山田 繁子	情報委員会
*	高倉 毅	総務委員会	事務局長	一宮 忠雄	

■記念講演会と記念パーティー

総会後、「北の風土とインテリア」と題し清家清氏に講演を戴いた。道内には清家氏設計による北海道の地域性と自然を考慮した建築物も多い。現在、札幌高等専門学校の校長であるが、その設立に対する氏の建学の理念と国の諸法令の合致の難しさを語られ、「good-desingsのgoodをこしらえる修練を学生にさせたい。また、修練には終わりが無い」として、「芸術は長く人生は短い」と言われた言葉は、氏の情熱を感じさせた。豊富な話題とおだやかな語り口は、時間の経過を忘れる一時であった。



記念パーティーへと移り、来賓の方々の祝辞、賛助会員の紹介等があり短時間ながら、会員相互の親睦と建築業界・インテリア業界の第一線で活躍している方達との交流もありボーダーラインのない有意義な情報交換の輪ができていた。

■インテリア展

総会に合わせて2週間に及び北方型情報プラザでは「インテリア展」が開催され「空間の創造とは」をテーマにインテリアの原点に帰り、五感に訴える提案とパネル展が行われた。同時に持田 容子氏（北海道立寒地住宅都市研究所）と杉山 宗英氏（当協会会長）によるセミナーが行われ、共に来場者の感性を刺激していた。



第1回総会



記念パーティー